

## 1 自己評価結果の総括

- ・ 主な取組の進捗状況に対する認識

平成21年度においては、解散による衆議院議員総選挙及び辞職による大阪市議会議員北区選挙区補欠選挙と突発的な選挙が続いた中、概ね目標を達成したといえる。

- ・ 主な成果と課題

国民投票法にかかる名簿抽出システムの開発については、予定通りに進捗しており、若年層対策においても検討が進み、一定の事業の成果もあります。

投票環境の改善と事務の整備・適正化においては、概ね順調に目標を達成しているが、投票管理システムについては、危機管理において慎重に検証を重ね、ネットワーク化の拡大を推進しなければならない。

- ・ 今後の対応方向

平成22年度に予定されている参議院議員通常選挙において投票管理システムのネットワーク化を進め、投票環境の改善に努めます。

若年層啓発においては、新たなヘッドスタートプログラムを開始します。